

第4回佐久市立中央図書館建替整備ワークショップの報告

1 開催概要

日時：令和4年12月18日（日）13：00～15：30

場所：中央図書館 視聴覚室

参加者：18名

内容：(1) グループワーク（4グループ）

テーマ「新たな中央図書館についてのまとめ」

今までのワークショップを経て、どのような新中央図書館を望んでいるか各班ごとに考えをまとめた。

(2) 各グループ意見発表

2 意見一覧

1班	みんなの居場所楽しめる図書館 ・機能の充実（十分な書架、空調完備の書庫） ・複合化（美術館、創造館、資料館） ・佐久の自然を感じられる設計 ・アクセスの良い立地を選ぶor交通の便を配慮 ・子育て支援（子育て応援ができる環境）
2班	過去と未来を繋ぐ居心地のよいスペース ・バリアフリーでゆったりくつろげるスペース ・郷土資料の収集、活用、文書館及び博物館機能を有する ・市民活動をサポートするためのセミナーホール、中ホール ・レファレンス機能の充実 ・子どもを育む図書館（保育園、学校図書館との連携を含む）
3班	「こまば文化の森」構想＝必要な情報を利用者が探せるツールがそろっている場所、文化的なもの的好奇心を刺激するものにふれあえる場所 ハード面 ・静かな部屋 ・広い机、個別の机 ・オープンスペース ・いろいろなデータベースにアクセスできる端末 ・連続講座ができる広い部屋 ソフト面 ・利用者のニーズに応えられるレファレンス ・利用者同士の交流ができる ・予算の拡充＝司書の待遇向上

4班	<ul style="list-style-type: none">・ 駒場公園という立地を生かし、佐久市のシンボルとなる中央図書館 浅間山、八ヶ岳の展望ができる・ 市民の課題解決のための相談、レファレンス、サークル活動、催し、交流、行政サービスとの連携ができる人員の配置とスペース、施設のある図書館・ 地域資料を集めた資料館との複合施設（ボランティア活動による継続的な充実）
-----------	--